

国語科学習指導案

知的1 (のびっこ1) 授業者 吉川 法恵 介助員 岡田 麻理香
知的2 (のびっこ2) 授業者 T1 佐藤 友治 T2 高橋 啓子
介助員 宮本 綾

1 学年・組

知的障害特別支援学級1組(1年1名・3年4名・4年1名・5年1名 合計7名)

知的障害特別支援学級2組(2年2名・3年1名・4年2名・6年3名 合計8名)

2 単元名 ぼくたち・わたしたち俳句探検隊 ～『俳句絵本』を作ろう～

3 単元について

- 本単元では、特別支援学校学習指導要領の2段階(3)「文字などに関心をもち、読もうとする。」、3段階(3)「簡単な語句や短い文などを正しく読む。」、小学校学習指導要領「C読むこと」(オ)「文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」(第1学年及び第2学年)をねらいとしている。そのために、「俳句絵本を作る」という言語活動を設定した。春夏秋冬の4つの季節ごとに俳句を作り、一年間かけて一冊の絵本に仕上げていくことで、見通しをもちながら学習を行うことができる。そして、作成した俳句絵本で最後に読書会を行うことを通して読書への興味を喚起させたい。また、それぞれの俳句を発表し、お気に入りの言葉や俳句のよさを交流する活動を通してコミュニケーション力を培うことができると考えられる。

この単元では、年間を通して季節に合った俳句を作る活動を行う。俳句作りは、自分の思いを書いたり話したりして伝えにくい児童にとって取り組みやすい。俳句を作ると季節を多面的に捉え、言葉のもつおもしろさに気付き、語彙力を向上させることができる。また、発見力やひらめき力をきたえ、感性や情操を育み、自然を大切にする心を養うことができると考える。

- 本学級は、知的障害特別支援学級である。児童は、昨年度「オリジナル俳句集」を作った。その中で、季節ごとの俳句作り、俳句暗唱、歳時記作り、お気に入りの俳句紹介を行ってきた。児童は、毎月2句の俳句を作る活動を通して、五七五で作る俳句に慣れてきた。また、様々な体験活動を仕組み、その体験からたくさんの言葉を集めたことで、どの児童も楽しんで俳句を作ることができるようになってきた。そして、作った俳句から自分のお気に入りを見つけ、理由とともに発表させたことで、自分の言葉で発表することができるようになってきている。しかし、体験していないことから想像して俳句を作ることが難しく、作った俳句の意味を説明したり、推敲したりすることができる児童は少ない。
個々の児童の実態は、次の通りである。

[知的障害特別支援学級1組(のびっこ1)]

- 1年A・・・平仮名の読み書きはまだ難しいが、文字に興味関心が強い。支援を受けながら俳句の中で自分の知っている言葉を探し出すことができる。
- 3年B・・・俳句を書くことには抵抗があるが、積極的に発表できる。声の大きさの調整と姿勢の維持が難しい。
- 3年C・・・五七五で俳句を作ることや発表することに自信がもてず、発表の声も小さい。語彙が少なく、自分の考えをもつことが難しい。
- 3年D・・・見たことを躊躇しながらでも言葉に表すことはできるが、人の前に出ることに抵抗がある。
- 3年E・・・俳句作りは好きで、意欲的に取り組める。問われていることを正確に理解することが難しいが、積極的に発表することができる。
- 4年F・・・俳句作りに積極的に取り組める。自分の思いを伝えることはできるが、相手の話を聞くことが苦手である。気分がむらがある。

5年G・・・五七五で俳句を作ることができるが、語彙が少ない。人の前で発表することに抵抗があり、自分の考えをまとめることが難しい。

[知的障害特別支援学級2組(のびっこ2)]

2年A・・・平仮名の読み書きが難しい。気持ちが落ち着いていると、的を得た発表ができることもある。

2年B・・・平仮名の読み書きはできるが人前で発表することに抵抗があり、俳句が書いていても正しく読まないことがある。

3年C・・・語彙が多くはないが言葉集めをすることはできる。人前で発表することに抵抗があり、そばで励まし等の支援を受けながら自分の作った俳句を発表している。

4年D・・・日本語の理解が不十分で、平仮名の読み書きも難しい。夏の食べ物の絵を見せる等の支援を受けながら俳句作りをしている。

4年E・・・語彙が多くはないが人前で発表することへの抵抗は少ない。俳句も自分で考えた言葉を使って作ることができる。

6年F・・・語彙があまり多くなくて人前で発表することにやや抵抗がある。考えがまとまると自信をもって発表できる。

6年G・・・語彙が少なく人前で発表することに抵抗がある。短い文は書けるが、助詞等が正しく使えないことも多い。

6年H・・・人前で発表することは得意だが、語彙が少ない。俳句の説明の途中で文脈がずれることもある。

児童実態からみる課題

【課題となる力】

- 自分の考えをもって発表する力。

【指導上の課題】

- 語彙が少なく自分の考えが書けない児童や文字を読むことに抵抗がある児童への支援が不十分だった。

- 指導にあたっては、児童が『俳句探検隊』となることで、楽しんで活動させていく。そして、他学級の友達が作った『俳句絵本』を集めて、読書会を開くことを単元のゴールに設定することで、相手意識や目的意識をもたせて取り組ませたい。

この課題解決に向けて、0次では、俳句のきまりを確認し、俳句絵本の見本を見せて、学習への興味をもたせる。第一次では、つけたい力を確認した後、単元のゴールを決め、学習計画を一緒に立てていく。第二次では、俳句を作ったり、作った俳句で俳句コンテストを開いたりする。俳句は、春夏秋冬の4つの季節に分けて書くようにする。植物や動物など生活に関する俳句や学校行事に関する俳句を作るようにする。それぞれの俳句を作った後には、俳句に合った写真や絵を添えたり、俳句の説明文を書いたりする。そして、友達の俳句を見ながらお気に入りの俳句を見つけ発表し合う。第三次では、読書会を開いて読んだ感想を伝え合うことで読書への興味を高めさせる。

協働的に学び合うための授業づくりの工夫として、「お気に入りの言葉」を俳句のよさを見つける視点としながら、俳句を読んだときに感想を発表し合う。発表する支援として、よさ見つけシートを用意する。自分の考えをもつことが難しい児童のために、言葉の選択肢を用意し、それをもとに発表させる。児童には、生活単元学習の時間を使って季節に合ったさまざまな活動や体験をさせている。春から「校庭での春みつけ」「梅雨の季節の特徴を知る」などの活動を通じて俳句を作ってきた。俳句作りの支援として、活動のことは集めを五感を使って行うようにしたり、季節ごとに季語になる言葉を文字と絵で表したりしていく。さらに、語彙を増やすために、俳句を作る前に写真を見ながらたくさんの言葉を見つけ黒板に書くようにする。また、五七五のうちの始めの五文字か最後の五文字を見本として示すことにより作りやすくする。俳句絵本作り以外にも、俳句暗唱チャレンジでは、有名な俳句を12句暗唱してのびっこ学級の友達や先生達に聞いてもらっている。また、自立の時間等を活用し、虫食い俳句クイズや「俳句かるた」

を行うことで、俳句への興味を継続させていく。また、児童が作った俳句から一人一句選んで「のびっこ俳句コンテスト」を実施し、票をたくさん集めた児童を優秀賞として表彰することでさらに意欲を高めていきたい。その際、どの俳句も自分の思いや感じたことを表しているということもしっかり認めていきたい。

指導改善ポイント

- 語彙を増やし、自分の考えをもたせる。

【指導の工夫】

- 体験活動や写真等から季節や気持ちの言葉見つけを行う。
- 絵や写真、実物を準備し、文字への興味づけを行う。
- 障害特性に応じた支援を行う。

【城北中学校区共通の授業改善の視点】

- ・ J (じっくり考える) … 季節を表す言葉、お気に入りの言葉を考えさせる。
生活単元学習で行ったことなどを想起しながら考えさせる。
- ・ H (はっきり表現する) … 友達に聞こえるようにはっきり発表させる。
- ・ K (繰り返し粘り強く挑戦する) … 毎時間、繰り返し音読や暗唱をさせる。

4 単元の目標・つきたい力

単元の目標

- 俳句を作ることに興味をもち、好きな俳句を選んだり俳句絵本を作ろうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話すことができる。
(特別支援学校指導要領 聞く・話す 2段階 (2))
- 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話すことができる。
(特別支援学校指導要領 聞く・話す 2段階 (2))
- 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すことができる。
(小学校指導要領 第1学年及び第2学年 話すこと・聞くこと ア)
- 俳句を聞いたり挿絵を見たりして、お気に入りのを見つけることができる。
(特別支援学校指導要領 読む 2段階 (3))
- 俳句を読んだり聞いたりして、お気に入りのを見つけることができる。
(特別支援学校指導要領 読む 3段階 (3))
- 俳句を読んで感じたことを発表することができる。
(小学校指導要領 第1学年及び第2学年 読むこと オ)

つきたい力

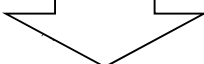
【知的障害特別支援学級1組(のびっこ1)】

- 1年A
- 文字などに関心をもち、読もうとする力
 - ㊦ 言葉の数を増やし、読もうとする力
- 3年B・C・D
- 簡単な語句や短い文などを正しく読む力
 - ㊦ 友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読む力
- 3年E・4年F・5年G
- 自分の思いや考えを発表する力
 - ㊦ 俳句を読んで感じたことを発表する力

【知的障害特別支援学級2組(のびっこ2)】

- 2年A・2年B・4年D
- 文字などに関心をもち、読もうとする力
 - ㊦ 言葉の数を増やし、読もうとする力
- 3年C・6年G
- 簡単な語句や短い文などを正しく読む力
 - ㊦ 友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読む力
- 4年E・6年F・6年H
- 自分の思いや考えを発表する力
 - ㊦ 俳句を読んで感じたことを発表する力

次学年へのつながり



特別支援学校学習指導要領〔読む〕

2段階 (3) 文字などに関心をもち、読もうとする。

3段階 (3) 簡単な語句や短い文などを正しく読む。

小学校学習指導要領〔C読むこと〕

【第1学年及び第2学年】

オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。

【第3学年及び第4学年】

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

5 単元の観点別評価規準

〔知的障害特別支援学級1組（のびっこ1）〕

児童	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	話す・聞く能力
「俳句を読んで感想を伝え合う言語活動」を通した指導 〔具体的な言語活動：『俳句絵本』を作ろう〕			
1年A	○俳句を作ることに関心をもち、好きな俳句を選んだり、俳句絵本を作ろうとしたりしている。	◎言葉の数を増やし、読もうとしている。2段階(3)	○生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。2段階(2)
3年B 3年C 3年D		◎友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読んでいる。3段階(3)	○生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどを話している。3段階(2)
3年E 4年F 5年G		◎俳句を読んで感じたことを発表している。(オ)	○身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出している。(ア)

〔知的障害特別支援学級2組（のびっこ2）〕

児童	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	話す・聞く能力
「俳句を読んで感想を伝え合う言語活動」を通した指導 〔具体的な言語活動：『俳句絵本』を作ろう〕			
2年A 2年B 4年D	○俳句を作ることに関心をもち、好きな俳句を選んだり、俳句絵本を作ったりしようとしている。	◎言葉の数を増やし、読もうとしている。2段階(3)	○生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。2段階(2)
3年C 6年G		◎友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読んでいる。3段階(3)	○生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどを話している。3段階(2)
4年E 6年F 6年H		◎俳句を読んで感じたことを発表している。(オ)	○身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出している。(ア)

6 指導と評価の計画【知的障害特別支援学級1組（のびっこ1）】

（全17時間 本時☆印）

学期	次	・ 学習内容（時数） ◎ 中心発問	評 価					
			関	読	話聞	評価規準（評価方法）		
						1年A	3年B・C・D	3年E・4年F・5年G
一学期	一	・ つけたい力を確認し、単元のゴールを決め、学習計画を立てる。(1/17)	◎			・ 俳句絵本を見て、学習の見通しをもち、俳句絵本作りに興味をもっている。(態度、発表)		
	二	・ 春の俳句を作る。(2/17) ◎春の俳句を作りましょう。			◎	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)
		・ 春の俳句絵本を作る。(3,4/17) ◎俳句に合う絵や説明文を書き、交流しましょう。		◎		・ 言葉の数を増やし、読もうとしている。(発表)	・ 友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読んでいる。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)
		・ 夏の俳句を作る。(5/17) ◎夏の俳句を作りましょう。			◎	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)	・ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出している。(俳句)
		・ 夏の俳句絵本を作る。(6/17) ◎俳句に合う絵や説明文を書き、交流しましょう。		◎		・ 言葉の数を増やし、読もうとしている。(発表)	・ 友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読んでいる。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)
		・ 第4回俳句コンテストを開く。(7/17) ◎好きな俳句を選んで感想を交流しましょう。	◎			・ 好きな俳句を選んで、感想を述べている。(発表)		
二学期	☆ 01	・ 夏の俳句絵本を作る。(8/17) ◎俳句に合う絵や説明文を書き、交流しましょう。		◎		・ 言葉の数を増やし、読もうとしている。(発表)	・ 友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読んでいる。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)
		・ 秋の俳句を作る。(9/17) ◎秋の俳句を作りましょう。			◎	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)	・ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出している。(俳句)
		・ 秋の俳句絵本を作る。(10,11/17) ◎俳句に合う絵や説明文を書き、交流しましょう。		◎		・ 言葉の数を増やし、読もうとしている。(発表)	・ 友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読んでいる。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)
		・ 冬の俳句を作る。(12/17) ◎冬の俳句を作りましょう。			◎	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)	・ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出している。(俳句)
		・ 第5回俳句コンテストを開く。(13/17) ◎好きな俳句を選んで感想を交流しましょう。	◎			・ 好きな俳句を選んで、感想を述べている。(発表)		
	三	・ 冬の俳句絵本を作る。(14,15/17) ◎俳句に合う絵や説明文を書き、交流しましょう。		◎		・ 言葉の数を増やし、読もうとしている。(発表)	・ 友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読んでいる。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)
三学期	三	・ 第6回俳句コンテストを開く。(16/17) ◎好きな俳句を選んで感想を交流しましょう。	◎			・ 好きな俳句を選んで、感想を述べている。(発表)		
		・ 読書会を開く。 ・ 学習を振り返ってまとめる。(17/17)	○	◎		・ 友達の『俳句絵本』を読み、感想を書いている。(感想カード) ・ 単元の学習を通してついた力を具体的に振り返っている。(あとがき)		

〔知的障害特別支援学級2組（のびっこ2）〕

（全17時間 本時☆印）

学期	次	・ 学習内容（時数） ◎ 中心発問	評 価					
			関	読	話 聞	評価規準（評価方法）		
						2年A・2年B・4年D	3年C・6年G	4年E・6年F・6年H
一 学期	一	・ つけたい力を確認し、単元のゴールを決め、学習計画を立てる。(1/17)	◎			・ 俳句絵本を見て、学習の見通しをもち、俳句絵本作りに興味をもっている。(態度、発表)		
	二	・ 春の俳句を作る。(2/17) ◎春の俳句を作りましょう。			◎	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)
		・ 春の俳句絵本を作る。(3,4/17) ◎言葉集めをして、春の俳句を楽しみましょう。		◎		・ 言葉の数を増やし、俳句を読もうとしている。(発表)	・ 言葉の数を増やし、俳句を正しく読もうとしている。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)
		・ 夏の俳句を作る。(5/17) ◎夏の俳句を作りましょう。			◎	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)	・ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出している。(俳句)
		・ 夏の俳句絵本を作る。(6/17) ◎言葉集めをして、夏の俳句を楽しみましょう。		◎		・ 言葉の数を増やし、俳句を読もうとしている。(発表)	・ 言葉の数を増やし、俳句を正しく読もうとしている。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)
		・ 第4回俳句コンテストを開く。(7/17) ◎好きな俳句を選んで感想を交流しましょう。	◎			・ 好きな俳句を選んで、感想を述べている。(発表)		
二 学期	☆ 02	・ 夏の俳句絵本を作る。(8/17) ◎言葉集めをして、夏の俳句を楽しみましょう。		◎		・ 言葉の数を増やし、俳句を読もうとしている。(発表)	・ 言葉の数を増やし、俳句を正しく読もうとしている。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)
		・ 秋の俳句を作る。(9/17) ◎秋の俳句を作りましょう。			◎	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)	・ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出している。(俳句)
		・ 秋の俳句絵本を作る。(10,11/17) ◎言葉集めをして、秋の俳句を楽しみましょう。		◎		・ 言葉の数を増やし、俳句を読もうとしている。(発表)	・ 言葉の数を増やし、俳句を正しく読もうとしている。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)
		・ 冬の俳句を作る。(12/17) ◎冬の俳句を作りましょう。			◎	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどを簡単な言葉で話している。(俳句)	・ 生活単元学習での活動や見聞きしたことなどのあらしや自分の気持ちなどを話している。(俳句)	・ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出している。(俳句)
		・ 第5回俳句コンテストを開く。(13/17) ◎好きな俳句を選んで感想を交流しましょう。	◎			・ 好きな俳句を選んで、感想を述べている。(発表)		
	・ 冬の俳句絵本を作る。(14,15/17) ◎言葉集めをして、冬の俳句を楽しみましょう。			◎	・ 言葉の数を増やし、俳句を読もうとしている。(発表)	・ 友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読んでいる。(発表)	・ 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表)	
三 学期	三	・ 第6回俳句コンテストを開く。(16/17) ◎好きな俳句を選んで感想を交流しましょう。	◎			・ 好きな俳句を選んで、感想を述べている。(発表)		
		・ 読書会を開く。 ・ 学習を振り返ってまとめる。(17/17)	○	◎		・ 友達の『俳句絵本』を読み、感想を書いている。(感想カード) ・ 単元の学習を通してついた力を具体的に振り返っている。(あとがき)		

7 本時の学習

〔知的障害特別支援学級1組（のびっこ1）〕

（1）本時の目標（第11時／全17時）

- 1年A 言葉の数を増やし、読もうとすることができる。
3年B・C・D 友達の俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読むことができる。
3年E・4年F・5年G 俳句を読んで感じたことを発表することができる。

（2）授業の視点

児童が作った俳句をみんなの前で発表し、季節の言葉やお気に入りを見つけたり自分の感じたことを発表したりさせる。

（3）本時の学習展開

※次ページ

〔知的障害特別支援学級2組（のびっこ2）〕

（1）本時の目標（第11時／全17時）

- 2年A・2年B・4年D 文字などに関心をもち、読もうとすることができる。
3年C・6年G 簡単な語句や短い文などを正しく読むことができる。
4年E・6年F・6年H 自分の思いや考えを発表することができる。

（2）授業の視点

児童が作った俳句や挿絵を黒板に貼って、言葉とのマッチングをしたり感想を発表したりさせる。

（3）本時の学習展開

※次ページ

(3) 本時の学習展開【知的障害特別支援学級1組(のびっこ1)】

	学習活動 ◎発問・予想される児童の反応	・指導上の留意事項 ☆つまずきへの支援 ◆【観点】評価規準(評価方法)			
		全体	1年A	3年B・C・D	3年E・4年F・5年G
課題の提示(5)	1 学習活動の流れを知り、全員で俳句を唱える。	☆「学習の流れ」を提示する。 K(繰り返し挑戦する) ・名句を音読し暗唱をさせる。	「きせつをあらわすことば」を見つける。	「きせつをあらわすことば、お気に入りのことば」を見つける。	お気に入りの俳句を見つけて、感じたことや思ったことを発表する。
	2 本時のめあてを確認する。 3 自分の振り返りの視点を設定する。 4 自分の俳句を発表する。	☆今日の学習で説明する俳句を事前に選ばせ、板書しておく。	A ○こ以上の言葉を見つけて読む。	A 俳句を正しく読み、季節を表す言葉やお気に入りの言葉を○こ以上見つける。	
課題の解決(35)	5 季節を表す言葉やお気に入りの言葉を見つける。	☆生活単元学習での活動を通して作った俳句を発表させる。 ☆発表の順番を決めさせる。 ☆発表の声の大きさや聞き方を確認する。 ☆聞き手はみんなの前で読めたことに拍手を送る。 ・黒板に発表した俳句絵本をはる。	☆教師が読んだ後に復唱させる。 ☆集中して友達の発表を聞くように促す。	☆固まって発表しにくい時は、教師と一緒に読んだり、復唱させたりする。 ☆3の声で読むように意識させる。	☆自信を持って発表できるような声かけをして、3の声で読ませる。
	6 季節を表す言葉やお気に入りの言葉を発表する。 ◎友達の俳句のいいなと思ったところを発表しよう。 ・～さんの俳句の○○という言葉がいいなと思いました。	・俳句シートにシールをはって、季節を表す言葉、お気に入りの言葉を見つける。 J(じっくり考える) ・季節を表す言葉、お気に入りの言葉を考えさせる。	☆そばで教師が俳句を読み、思いを聞き取りながら一緒にシールをはる。 ☆指で文字を押さえて読ませる。 ☆発表できない時は、そばで発表を支援する。 ◆【読む能力】 言葉の数を増やし、読もうとしている。(発表、態度)	☆お気に入りの言葉を見つけにくい時は、挿絵を見させて想起させる。 ◆【読む能力】 友だちの俳句から季節の言葉を見つけて、正しく読んでいる。(発表、態度)	☆お気に入りの言葉を選んだ理由を考えるよう声かけし、発表させる。 ◆【読む能力】 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表、態度)
まとめ・振り返り(5)	7 本時のまとめ・振り返りをする。 8 次の活動について確認する。	☆花丸を付けて評価する。	友だちのはいくからきせつのことばを見つけて、よむことができた。 ○このきせつをあらわすことばを見つけたことができた。	友だちのはいくからきせつのことばやお気に入りのことばを見つけたことができた。 きせつを表すことばやお気に入りのことばを○こ以上見つけた。	友だちの俳句からお気に入りの俳句を見つけて思ったことを発表できた。

(3) 本時の学習展開【知的障害特別支援学級2組(のびっこ2)】

	学習活動 ◎発問・予想される児童の反応	・指導上の留意事項 ☆つまずきへの支援 ◆【観点】評価規準(評価方法) 役割分担(T1, T2)				
		全体	2年A・B	4年D	3年C・6年G	4年E・6年F・6年H
課題の提示(5)	1 学習活動の流れを知り、全員で俳句を唱える。	☆「学習の流れ」を提示する。 K(繰り返し挑戦する) ・毎時間、名句の音読や暗唱をさせる。	ことばあつめをして、秋のはいくを楽しもう。			
	2 本時のめあてを確認する。 3 自分の振り返りの視点を設定する。		A あきのたべもののはいくをつくる。		A あきのたべもののはいくをつくり、感じたことを発表する。	
課題の解決(35)	4 言葉集めをする。	・まず知っている食べ物を発表させる。(T1) ・色や味などを思い出させながらその食べ物からイメージできる言葉を発表させる。(T1) ☆発表の声の大きさや聞き方を確認する。(T1) J(じっくり考える) ・生活単元学習で行った秋見つけなどを想起しながら考えさせる。	☆会話をしながら言葉を思い浮かべさせる。(T2) ☆発表できない時は、そばで発表を支援する。(T2)	☆絵を描いてやり、それをもとに言葉を考えさせる。(T2) ☆発表できない時は、そばで発表を支援する。(T2)	☆そばで思いを聞き、確認して自信をもたせる。(T2) ☆発表できない時は、そばで発表を支援する。(T2)	☆そばで思いを聞き、確認して自信をもたせる。(T1)
	5 秋の食べ物を表した絵と言葉のマッチングをする。	☆事前に児童に聞いておいた言葉を使用する。(T2) ☆板書に出た言葉をワークシートに書き入れる。(T2)	☆発表できない時は、そばで発表を支援する。(T2)	☆発表できない時は、そばで発表を支援する。(T2)	☆発表できない時は、そばで発表を支援する。(T2)	☆必要に応じてそばで思いを聞き、確認して自信をもたせる。(T1)
	6 下の句を考えて俳句を作る。					
	7 できた俳句を発表する。	H(はっきり表現する) ・友達に聞こえるようにはっきり発表させる。				
振り返り(5)・	8 □に言葉を当てはめてできた俳句を見て思ったことを発表する。 ◎ この俳句を読んでどんな感じがしますか。 ・おいものがほくほくしておいしそうな感じがします。		◆【読む能力】 言葉の数を増やし、読もうとしている。(発表、態度)		◆【読む能力】 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表、態度)	◆【読む能力】 俳句を読んで感じたことを発表している。(発表、態度)
	9 本時のまとめ・振り返りをする。	☆花丸をつけて評価する。(T1)	いろいろなことばをつかうとイメージのちがうはいくができ、楽しむことができる。			
	10 次時の活動について確認する。		あきのたべもののはいくができた。		できたはいくを見て思ったことを発表できた。	